

令和7年度岐阜県献血推進協議会議事要旨

1 日 時

令和8年2月13日（金） 13：30～15：00

2 場 所

岐阜県庁 20階 2004会議室

3 出席者

所 属 会 名	役職名	氏 名	備考
一般社団法人岐阜県医師会	会長	伊在井 みどり	会長
一般社団法人岐阜県病院協会	専務理事・事務局長	大杉 孝之	副会長
一般社団法人岐阜県薬剤師会	会長	棚瀬 友啓	
一般財団法人岐阜県地域女性団体協議会	会長	竹中 昌子	
岐阜県高等学校長協会	副会長	増田 泰志	
岐阜県高等学校PTA連合会	監事	田中 博之	
岐阜新聞社	報道本部長	井上 吉博	
岐阜大学医学部附属病院	輸血部副部長	中村 信彦	
一般社団法人岐阜県経営者協会	事務局長	本間 一哉	
日本労働組合総連合会岐阜県連合会	副事務局長	堀 武彦	
ライオンズクラブ国際協会 334-B 地区	第一副地区ガバナー	阿部 嘉澄	
岐阜市赤十字奉仕団	委員長	上田 千衣子	
大垣市赤十字奉仕団	委員長	栗田 ひろ子	

【事務局】

所 属	役 職	氏 名
岐阜県健康福祉部	部長	中西 浩之
岐阜県健康福祉部薬務水道課	課長	山内 康裕
	管理調整監	服部 真紀
	技術課長補佐兼係長	青木 明日香
	主任技師	加藤 大和

【関係機関】

所 属	役 職	氏 名
岐阜県赤十字血液センター	所長	高橋 健
	事業部長	野村 昭雄
	総務課長	佐橋 昌邦
	献血推進課長	岡部 裕晃
	推進一係長	横山 志のぶ
	推進二係長	小森 真喜
	推進担当	辻 智仁
	推進担当	北村 莉子
	推進担当	佐伯 俊也
岐阜県教育委員会体育健康課	課長	日下部 光
	課長補佐兼係長	安藤 精
岐阜市保健所	課長	加藤 いづみ
岐阜保健所	技術主査	奥村 幸恵
西濃保健所	技術主査	廣澤 智子
西濃保健所揖斐センター	主任技師	志水 美奈
関保健所郡上センター	技術課長補佐兼係長	川上 訓徳
可茂保健所	主任技師	浅倉 智貴
東濃保健所	主任技師	大野 雄也
飛騨保健所	係長心得	古田 博勅
飛騨保健所下呂センター	係長心得	原 嘉章

4 議 題

- (1) 令和8年度岐阜県献血推進計画（案）について

5 報 告

- (1) 令和7年度献血推進等事業の概要について
 (2) 令和7年度献血及び供給の実績について
 (3) 令和7年度岐阜県合同輸血療法委員会活動について

6 その他

- (1) 未来へつなぐ献血プロジェクトぎふの中間評価及び令和9年度以降の目標設定について

7 議事要旨

冒頭、岐阜県健康福祉部中西部長からあいさつを行った。

岐阜県献血推進協議会会長の一般社団法人岐阜県医師会 伊在井会長からあいさつを行った。

岐阜県献血推進協議会会則第7条第1項の規定に基づき、伊在井会長が議長となり議事を進行した。

- ・議題（1）令和8年度岐阜県献血推進計画（案）について
事務局 青木 技術課長補佐兼係長から資料に基づき説明を行った。

<伊在井会長>

ただ今の説明について、ご意見ご質問はあるか。

学校の立場として、岐阜県高等学校長協会 様、ご意見いかがか。

<増田会員（岐阜県高等学校長協会）>

高校で献血セミナーを開催したところ、予定以上の生徒が参加するなど興味・関心は高かった。

生徒は、「献血という言葉は知っていても、どこで何をするのか分からない」という実態があると考えられる。時機を得て情報発信しながら、献血が地域社会を支えているという意識を育てたい。

高等学校長協会としても全面的に協力しながら一緒に取り組ませていただく。

<伊在井会長>

情報発信の仕方について、メディアの立場として、岐阜新聞社 様、ご意見いかがか。

<井上会員（岐阜新聞社）>

大人が当たり前と思っていることでも、子供たちは全く知らないということは、献血に限らず色々な分野である。このため、学校教育の中で献血の意義を織り込むことが重要である。

Youtube で動画を流すなどデジタルでの情報発信は有効だが、若者が献血に関心を持つかは未知数であるため、小さい頃から情報に接することが、大きくなった際の意識付けにつながると考える。

<伊在井会長>

岐阜県高等学校PTA連合会 様、ご意見いかがか。

<田中会員（岐阜県高等学校PTA連合会）>

岐阜献血ルーム アクティブGは、岐阜駅から足を運んでもらうことができる立地であるため、近隣で時間を持て余しているような学生を、効率よく誘導できたら良いと考える。

若者はタイパやコスパを重視する傾向があるため、短時間で参加できる導線づくりが必要である。

Face to Face の試みが有効だと考えるので、街角アンケートのような試みで呼び込みしてもよいと考える。

<伊在井会長>

岐阜献血ルーム アクティブGの献血者も増えていると考えるが、岐阜県赤十字血液センター 様
いかがか。

<岐阜県赤十字血液センター 高橋所長>

名鉄岐阜駅近くにあった新岐阜献血ルームを、約3年前にアクティブGに移転して、現在の岐阜
献血ルーム アクティブGをオープンした。オープン前は、駅の献血ルームでの高校生の献血者数は、
500人ぐらいであったが、オープン後2年経過した昨年度には、950人程度に増えている。

高校生は3年間で入れ替わるため、継続的な意識維持が難しいが、継続して協力いただけるよう
一層働きかけていくことを考えている。

<伊在井会長>

岐阜献血ルーム アクティブGでは、どの高校の生徒がどのぐらい献血に協力しているか、表に貼
り付けるような取り組みがあり、学生が各々頑張ろうという気持ちになるように工夫されている。

大変清潔で居心地の良い場所となっているため、ぜひこのままご活用いただきたい。

続いて、地域活動への協力団体の立場として、ライオンズクラブ国際協会 334-B 地区 様、ご意
見いかがか。

<阿部会員（ライオンズクラブ国際協会 334-B 地区）>

岐阜県と三重県に72のクラブがあり、多くが年1回以上献血に関する活動を行っている。

実際のところ献血の呼びかけ活動を行っていても、飛び込みで協力いただける方は、全体の2割
程度で、多くは社員なども紹介して献血へ協力している。

高等学校へ直接協力の働きかけを行っているクラブもあり、骨髄バンクドナー登録活動と併せて、
献血活動へ継続的に支援していきたいと考えている。

<伊在井会長>

一般財団法人岐阜県地域女性団体協議会 様、ご意見いかがか。

<竹中会員（岐阜県地域女性団体協議会）>

日頃から献血バスを目にするが、何かの記念に献血しようということで、成人式で献血された
事例が印象に残っている。

こういった行事を新聞に掲載するなど、若者の関心を引く報道をしていただきたい。

<伊在井会長>

資料には、サマーキャンペーン、ハロウィンキャンペーンやクリスマスキャンペーンなど様々な
キャンペーンを実施している旨掲載してありますので、是非宣伝いただきたいと考える。

続いて、企業の立場として、一般社団法人岐阜県経営者協会 様、ご意見いかがか。

<本間会員（一般社団法人岐阜県経営者協会）>

経営者協会には800社ほどの企業があり、献血推進について情報発信している。

今回、職場で献血をすることだけではなく、若年層への啓発の必要性を再認識した。

ChatGPTで、若年層への献血促進案を調べたところ、若者が献血しない主な理由として、痛そう、怖い、時間がない、自分事として捉えていない、SNSでの情報不足などが挙げられた。

有効な対策として、高校生には体験型の献血教育の強化すること、大学生には社会参加型の価値を訴求することなどが挙げられる中で、最重要とされたのはSNSの活用であった。

また、重要な三本柱としては、初回の献血体験をいかにポジティブにするか、SNSで可視化・拡散できるような仕組みづくり、仲間と一緒に参加できる環境づくりを行うことであったため、参考としていただきたい。

<伊在井会長>

日本労働組合総連合会岐阜県連合会 様、ご意見いかがか。

<堀会員（日本労働組合総連合会岐阜県連合会）>

会社側と労働組合が力を合わせて取り組むのであれば、会社で献血を実施し、ある程度の献血者数を確保できると考える。ただし、若年層の確保となると、会社によっては若年層が少ないところや人手不足でないところもあり、難しいところがある。

献血も、友人と一緒にいくということが動機になると考えるので、そういった部分を取り入れた取り組みが重要だと考える。

これまでもキャンペーンについて、チラシ配布やエフエム放送出演などの広報へ協力しており、今後も可能な範囲で協力させていただく。

<伊在井会長>

岐阜市赤十字奉仕団 様、ご意見いかがか。

<上田会員（岐阜市赤十字奉仕団）>

私たちは、皆さんに献血をお願いする立場で参加している。

呼びかけ活動を行う際、学生に対し「献血してくれる？」と聞くと、皆が「献血に行く」と回答してくれる。また、メモリアルセンターでFC岐阜のイベントがあるときは、多くの若者がいるため、啓発の好機であると考えます。

先般、「はたらく細胞」の映画を視聴し、赤血球や白血球の働きの重要性がよくわかった。こうしたDVDは、血液の働きの理解促進に良いと考えるので、献血セミナーDVDの取り組みには期待している。

<伊在井会長>

大垣市赤十字奉仕団 様、ご意見いかがか。

<栗田会員（大垣市赤十字奉仕団）>

大垣市赤十字奉仕団では、毎月アクアウォーク大垣で呼びかけ活動を実施している。

この際、啓発用ボードだけでなくチラシなどがあれば、呼びかけがしやすいと考える。

なお、呼びかけの際には、年配の方が懐かしそうに声を掛けてくださる。その場合、家庭内の若者へ伝えていただくようお願いし、広く協力を呼びかけている。

<伊在井会長>

医療関係者として、一般社団法人岐阜県病院協会 様、ご意見いかがか。

<大杉会員（一般社団法人岐阜県病院協会）>

昨年度の議事要旨を確認したところ、他県と岐阜県でやっていること、やっていないことを明白にして、有効であったことを実施することが大事であると発言があったが、他県の取り組みを参考にしたり、計画を見直した例はあるか。

<事務局>

岐阜県献血推進計画での取り組み内容を検討するうえで、他県の献血推進計画を確認しているが、本県の取り組みは、他県の実施内容にプラスした取り組みであると考えている。

例えば、今年度の取り組みとして、献血ができない年齢の方も対象とした血液センターの見学ツアーの開催や献血セミナーDVDの制作をしたが、こうした取り組みを、県が実施したところ、他県から参考にしたいという声をいただいた。

引き続き、他県の取り組み内容を調査し、有効な事例を取り入れて、献血推進を行っていきたいと考えている。

<伊在井会長>

一般社団法人岐阜県薬剤師会 様、ご意見いかがか。

<棚瀬会員（一般社団法人岐阜県薬剤師会）>

今後は、小学校、中学校及び高等学校へ薬物乱用防止等の講義を行う際に、献血に関する内容を組み込む方針であるとともに、若年層への献血促進を呼びかける事を盛り込みたい。

また、医療人として「なぜ献血に行かないのか」というスタンスで、会員に参加促進を図りたい。

1人では、なかなか参加しづらいところもあると考えるので、グループで献血に行くような策を組み、初回のハードルを下げたいと考えている。

<伊在井会長>

岐阜大学医学部附属病院 様、ご意見いかがか。

<中村会員（岐阜大学医学部附属病院）>

医療現場では、献血によって多くの命が救われておりお礼申し上げます。

若年層の方には、献血した血液がどのように役立っているのか、医療従事者や患者さん自身の声を届ける取り組みが重要と考えている。

この取り組みへの協力として、QRコード付きポスターを病院内に掲示している。このQRコードから匿名で声を届けられる仕組みであるが、高齢の患者さんには利用が難しいため工夫が必要である。患者さんだけでなく、医療従事者の声を伝えるような取り組みに一層協力したいと考えている。

<伊在井会長>

多くのご意見をいただき感謝申し上げます。

令和8年度岐阜県献血推進計画については、本日いただいたご意見も踏まえたものとしていただきたい。

・報告（1） 令和7年度献血推進等事業の概要について

・報告（2） 令和7年度献血及び供給の実績について

事務局 青木 技術課長補佐兼係長から資料に基づき説明を行った。

<伊在井会長>

ただ今の説明について、ご意見、ご質問はないか。

資料について、岐阜県の各年代の人口に対する献血者の割合は、16～19歳と60～69歳は増加し、その他の年代は減っているという認識でよいか。

<事務局>

そのとおりです。

<岐阜県赤十字血液センター 高橋所長>

10代は増加しているものの、国が目指す目標値には届いていないため、さらに増加させようと取り組んでいる。

問題は40代の献血者数が減り、60代の献血者数が増えている状況であり、将来的には60代の方々が献血できなくなる状況になるため、献血をする若者の確保は急務である。

なお、管内医療機関の400ml製剤の要請率は99.76%であるが、若年層に献血を経験していただくためには、200ml献血を許容し、未来の献血に繋げていくことが重要であると考えている。各医療機関には、ご理解いただきたい。

- ・報告（3） 令和7年度岐阜県合同輸血療法委員会活動について
事務局 青木 技術課長補佐兼係長から資料に基づき説明を行った。

<伊在井会長>

ただ今の説明について、ご意見、ご質問はないか。

（意見なし）

- ・その他（1）未来へつなぐ献血プロジェクトぎふの中間評価及び令和9年度以降の目標設定
について
事務局 青木 技術課長補佐兼係長から資料に基づき説明を行った。

<伊在井会長>

ただ今の説明について、ご意見、ご質問はないか。

意見ないようであれば、本日の議事を終了いたします。

（意見なし）

以上で、令和7年度岐阜県献血推進協議会を終了した。